

事務事業名		農地制度実施円滑化事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間	
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興					
	基本事業名	01 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 22 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		農地法、農業委員会等に関する法律				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 01 13	
部課名		農業委員会事務局					
所 属	係 名	農地係	電話	27-3111	内線		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 農業委員会等に関する法律第6条第1項に基づく事務を適切かつ円滑に実施するとともに、事務の透明性の向上ならびに公平性及び公正性を確保する。 主な事業内容 農地利用状況調査を行い、農地基本台帳を整備する。 総会の議事録への審議過程のすべてを詳細に記載する。 主な支出 農地利用状況調査用臨時職員賃金 農地基本台帳の管理項目変更に伴うシステム改良委託料							
全体計画 (期間限定複数年度のみ)						総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 1,212,000 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 3,000 事業費計 (A) 1,215,000 人件費 正規職員従事人数 3 延べ業務時間 500 人件費計 (B) 2,000 トータルコスト(A) + (B) 1,217,000	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 農地利用状況調査の実施	ア 農地利用状況調査	件
	イ	
	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農業者・農地所有者	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	名称	単位
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 遊休農地の所有者を特定し、農地法を遵守させ、農地を保全する。	カ 農地面積	ha
	キ	
	ク	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 農地の効率的な利用や経営の安定が図られ、農産物が安定して高く売れる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
	サ 農業者への指導件数	件
	シ	
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						1,212
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						3
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	1,215
	人件費	正規職員従事人数	人						3
		延べ業務時間	時間						500
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	2,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	3,215
活動指標		ア	件						5,815
		イ							
		ウ							
対象指標		カ	ha						468
		キ							
		ク							
成果指標		サ	件						178
		シ							
		ス							

事務事業ID	1423	事務事業名	農地制度実施円滑化事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成21年の農地法等の一部を改正する法律により、転用規制の見直し、農地の貸借についての規制の見直し、農地の利用集積を図る事業等が創設され、これらの事務を適切かつ円滑に実施できるよう、平成22年度に農地制度実施円滑化事業が施行されたことによる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

新規事業

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

耕作放棄地の耕地に占める割合が県内で最も高いため、その解消が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 農産物の生産資源である農地の有効利用を推進することは、国の推進する食料自給力向上の観点からも重要性が高まっている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 農地は、食糧生産資源のひとつであり、遊休農地や耕作放棄地が増加すると、食料の安定した生産に支障をきたすため、公的規制が必要であり、農業委員会等に関する法律及び農地法に則った事業である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 農地法等の規定に則しており、類似した法律もないため、対象・意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 農業振興地域内の農用地等を中心にバトリールを実施し、遊休農地がある場合には、積極的に農家指導を行っていく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 遊休農地や耕作放棄地の増加につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 農地法に規定されており、類似事業はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業費は農地利用状況調査用臨時職員賃金と農地基本台帳の管理項目変更に伴うシステム改良委託料に係るものであり、必要経費は国から補填されている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 農地利用状況調査については、現地調査は主に農業委員が行っており、農地台帳へのデータ入力については臨時職員で対応しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 主な事業内容が、農地利用状況調査、農地台帳の整備等のため、受益者負担を設定することができない。

事務事業ID	1423	事務事業名	農地制度実施円滑化事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 効率的に農地パトロールを実施し、遊休農地がある場合には、積極的に農家指導を行っていく必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 農地パトロールを行う8月から10月の期間に市の広報に記事掲載し周知するとともに、遊休農地や耕作放棄地を所有している農家に対して、積極的に農家指導を行っていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 農業委員の更なる協力を得て、農地パトロールを実施するとともに、農家との対話を深め、耕作放棄地等にならないようにする。																							

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長
-------	-----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 広報等で農地パトロール実施の周知をした。全農地のパトロールはできなかったが、農業委員と事務局が協力して、重点地域と位置付けした地域を中心に調査した。										
目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 農業委員と事務局が協力して農地パトロールを強化し、引続き、違反転用の防止や耕作放棄地解消等の指導を行っていく。ホームページや広報等を活用し周知する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
